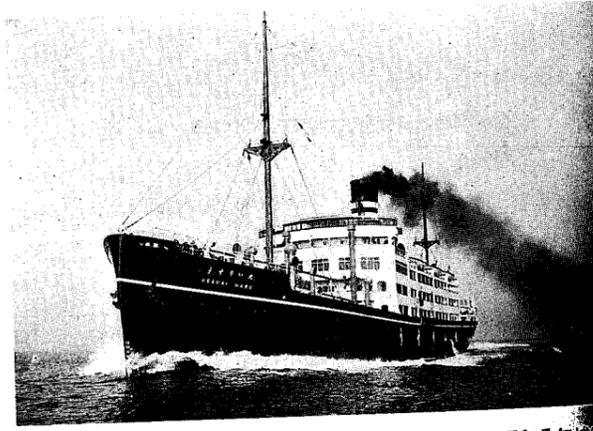


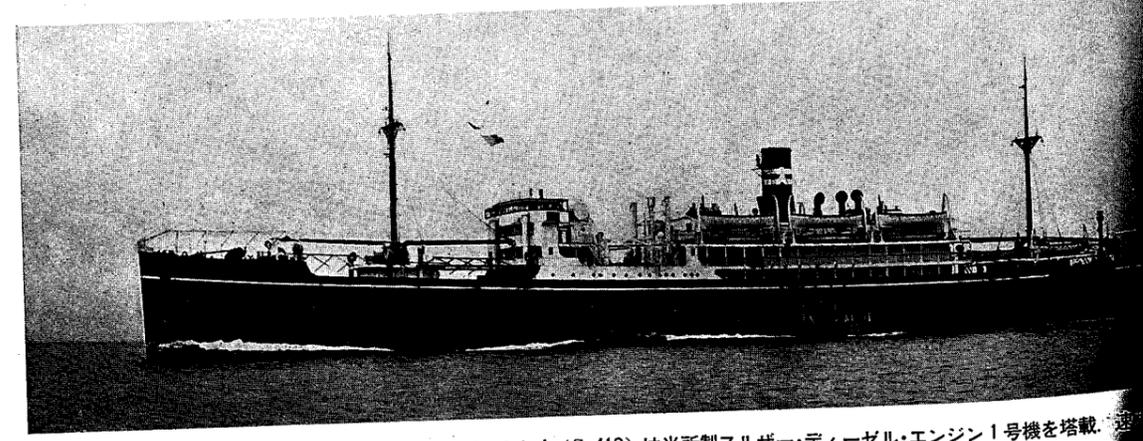
処女航海を終えニューヨーク港に入港の畿内丸 (S. 471) 姉妹船 3 隻とともに速力18節を誇り「ニューヨーク急航船」と呼ばれた優秀貨物船

主要建造船舶について

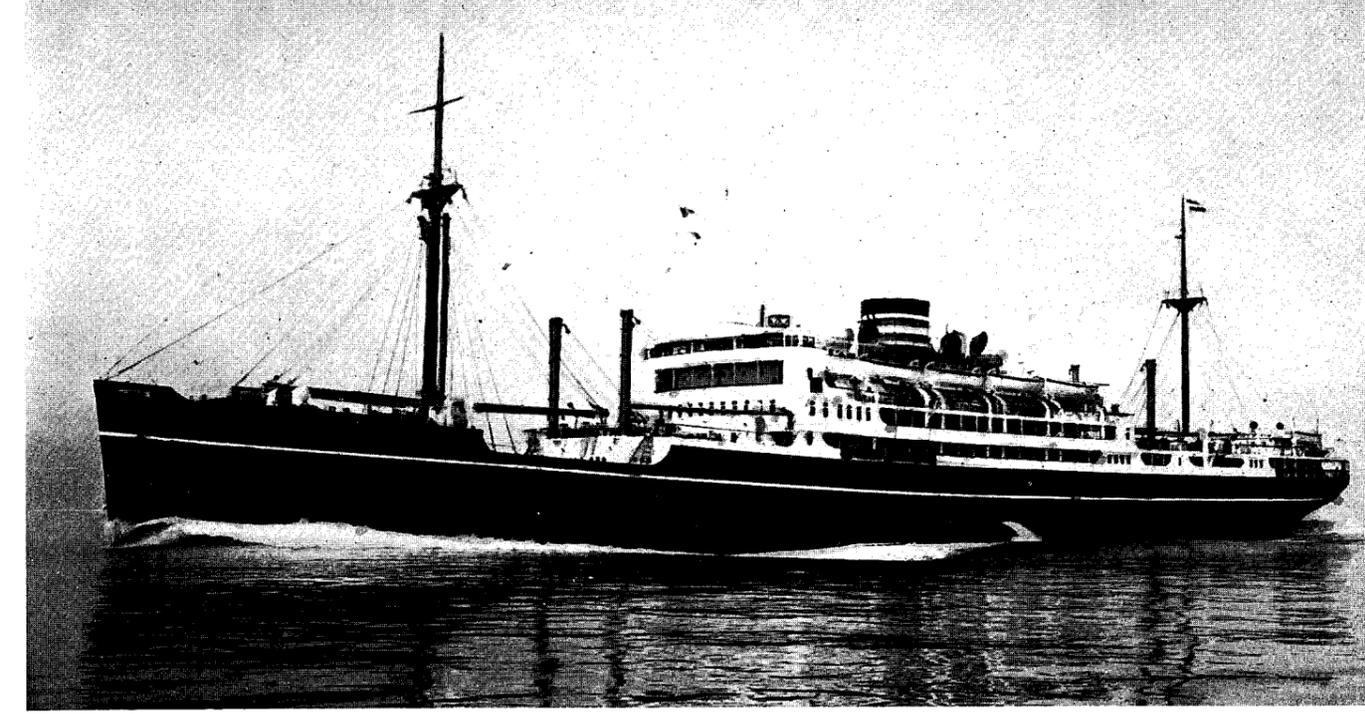
大正13(1924)年には南米航路船らぶらた丸など 3 隻を受注、愁眉をひらいた。浅間丸クラス 2 隻が建造されるころ、船主は積極的に海運界の不振打開につとめ、当所は昭和 4 (1929)年、箱根丸クラスのいわゆる Hクラスの代船として照國丸、靖國丸 2 隻を起工した。昭和 5 (1930)年には畿内丸型貨物船 4 隻を竣工、俗にニューヨーク急航船とよばれ、その高速力は当時欧米にも比類がなかった。大正11~昭和 6 (1922~31)年までに、当所は貨物船13隻、約 71,000 噸、貨客船14隻、約106,000噸、客船 5 隻、約41,000噸、油槽船 5 隻、約36,000 噸などを建造し、不況下にあっても活躍した



うすり丸 (S. 500) 総噸数 6,386噸、大連航路貨客船、昭和 7 年竣工



らぶらた丸 (S. 411) 南米航路貨客船、姉妹船もんでびでお丸 (S. 412) は当所製スルザー・ディーゼル・エンジン 1 号機を搭載、速



靖國丸 (S. 468) 総噸数 11,979噸、速力 17.7節、昭和 5 年 8 月 31 日竣工、姉妹船照國丸 (S. 467)とともに欧州航路に就航したディーゼル貨客船



丸船室の紹介。①一等社交室、②二等社交室、③ペランダ・ルーム、④特別室、公室関係にはクラシック様式、特別室は古代日本様式